



2018年10月25日

各位

会社名 富士古河E & C株式会社
 代表者名 代表取締役社長 日下 高
 (コード: 1775 東証第二部)
 問合せ先 取締役経営企画本部長 小田 茂夫
 (TEL. 044-548-4500)

2019年3月期第2四半期の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2018年4月25日に公表しました2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 第2四半期累計期間 業績予想と実績値との差異
 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2018年4月25日)	百万円 34,000	百万円 1,100	百万円 1,100	百万円 750	円 銭 83.39
実績値 (B)	38,159	1,309	1,296	834	92.81
増減額 (B - A)	4,159	209	196	84	—
増減率 (%)	12.2	19.0	17.9	11.3	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	32,647	1,104	1,095	675	75.09

(2) 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2018年4月25日)	百万円 29,000	百万円 900	百万円 950	百万円 700	円 銭 77.83
実績値 (B)	32,300	940	1,014	703	78.22
増減額 (B - A)	3,300	40	64	3	—
増減率 (%)	11.4	4.5	6.8	0.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	27,475	700	758	521	58.00

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額は、2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2. 差異の理由

当第2四半期の連結業績につきましては、個別及び連結子会社の業績が堅調に推移したことから、前回発表値を上回る結果となりました。

当第2四半期の個別業績につきましては、売上高は大型工事の進捗が当初予想よりも進行したことなどから、前回発表値を上回る結果となりました。利益面では、売上高の増加により営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ前回発表値を上回る結果となりました。

なお、通期業績予想につきましては、従前の予想数値を据え置いておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表させていただきます。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上